



科学自然都市協創連合主催大漁旗プロジェクト キックオフイベント
大 漁 旗 御 披 露 目 交 流 会

完成した大漁旗の御披露目 と まちづくりミニワークショップ

日時	2019年10月6日(日) 12:30～13:00 (大漁旗御披露目) & 14:00～15:00 (ミニワークショップ)
場所	釜石市“魚河岸テラス” 共用テラス(大漁旗御披露目) & 1F 会議室及びホール(ミニワークショップ)
主催	東京大学 生産技術研究所 (https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/)



東京大学 生産技術研究所は、設立 70 周年記念事業の一環として、“日本のロケット開発の父”と称される元教授の糸川英夫博士らが日本のロケット研究開発黎明期に約 10 年間にわたりロケット関係の事業を展開した所縁の各地を繋ぐ横断的な連携組織の立ち上げを構想し、千葉県千葉市・東京都杉並区・東京都国分寺市・秋田県由利本荘市・秋田県能代市・鹿児島県肝属郡肝付町の 6 基礎自治体と共に、「科学自然都市協創連合～宇宙開発発祥の地から繋ぐコンソーシアム～」を本年 7 月に設立しました。そして、コンソーシアムの設立記念事業として、日本各地が誇る魅力と、災害からの復興も含めて、地域が輝きを増すための願いや希望を描いた大漁旗を地域ごとに作製し、2020 年度に東京大学の安田講堂ですべての大漁旗をたなびかせる【大漁旗プロジェクト】を実施します。各地の大漁旗は、日本沿岸を航行する船舶に託して寄港地から寄港地へと届けられ、それらの航海の軌跡を繋ぐことで各地が一つに繋がります。

大漁旗プロジェクトで最初に作製する 3 枚は、岩手県立高田高等学校・釜石高等学校・宮古水産高等学校の生徒の皆さんにデザイン画制作にご協力いただき、陸前高田市・釜石市・宮古市の地域の旗として作製を進めています。これらの大漁旗は、国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 所属の調査研究船“新青丸”の KS-19-20 航海により宮古港 (10 月 8 日出港) から函館港 (10 月 16 日入港) へと届けられます。

そこで、東京大学生産技術研究所が実施している設立 70 周年記念事業と科学自然都市協創連合主催事業である大漁旗プロジェクトの概要を紹介するとともに、完成した大漁旗の御披露目を行うため、交流会を開催します。また、大漁旗プロジェクトの一環として実施する“もしかする未来プロジェクト”の第一弾“もしかするはこだて～自然×科学×まちづくり～【最先端の科学や技術を味方につけたら、はこだてはどう変わる?】”に先行したまちづくりミニワークショップを開催します。奮ってご参加ください。